

# 特定非営利活動法人関西国際交流団体協議会

## 2024 年度(令和 6 年度)

### 事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

#### 2024 年度の総括

2024 年度は、労働市場での大幅な賃金アップに伴う消費者物価の高騰と値上げに振り回された 1 年となりました。当協議会においても人材不足は顕著で、引き続き人材の確保が急務となっています。

それでは、2024 年度の当協議会の活動を事業計画に沿って検証しながら報告させていただきます。

まず、NGO/NPO 間の連携促進事業については、会員メンバーとの情報交換を密にし、会員団体のイベント等の情報を、会員間及びさらなる広がりを持って、メールマガジンを 26 回配信することができました。会員からの情報発信が年々増えて、より一層の情報共有が進んでいます。また、X(旧 Twitter 及び Facebook 等の SNS の活用については、昨年以上の回数で配信し、ワン・ワールド・フェスティバル(以下「OWF」という。)関係で 32 回、当協議会関係の配信で 38 回と活発に活動を継続し、当協議会のアクセス数及び OWF の集客にも大きく寄与することができました。今後も会員団体との交流を深め、有用な情報を会員間で共有できるネットワークの構築に努めてまいります。

本協議会が事務局機能を担う OWF は、昨年同様「梅田スカイビル」で、大寒波が襲来した極寒の中での開催となりました。しかしながら、悪天候にも関わらず、多くの来場者が訪れ、昨年以上の賑わいとなりました。梅田ステラホールで開催された「出展ブース」では 81 団体(85 ブース)が出展し、昨年同様 5 つのグループに分けて SDGs の活動を紹介しました。今回から出展団体の PR コーナーを設け、ブースでの活動発表とは別に、活動の成果等を来場者に発表していただく「場」としています。3 階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、在住外国人のための自然災害や防災について分かり易く解説したセミナーも開催し、来場者と一緒に考える機会を設けました。梅田ステラホール・3 階ロビーでは、外務省フォトコンテスト「みんなが輝く世界 for the first step!」に応募された作品を展示し、相談コーナーとして「外務省 NGO 相談員ブース」「在留外国人向け防災啓発コーナー」を設けました。また、販売コーナーでは、出展団体の活動を広く知っていただくために、出展団体が扱う商品の販売をさせていただきました。セミナー会場は、今回から梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室に変更し、2 会場で計 20 のプログラムを実施することができました。参加団体から、いのち、人権、難民等の問題を提起していただき、来場者と一緒に考え討論することができました。屋外会場となるワンダースクエアでは、UNHCR の難民テントの展示、「みんなのキッチン」として 17 台のキッチンカーにより世界各国のグルメを提供することができました。また、「みんなのスポーツ」として、メキシコ発祥のルチャリブレを起源とする大阪プロレスの興行も行われ、寒さに負けず多くの観客から熱い声援が送られました。そのリングの上では、試合の合間に日本舞踊等も披露されました。フ

インランド発祥の「モルック」、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらずすべての人が一緒に競い合える「ポッチャ」は、今回も多くの方々に楽しんでいただきました。また、オンラインにて、SDGsの理念や国際交流・国際協力への理解を深める「第5回動画コンテスト」を実施いたしました。

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得の社会問題を受けて始めた事業「こどもプラザ」は、順調に推移し、今年度は中学生も受入れ、その中学生2名が高校を受験しました。幸いにも2名とも高校に進学することができました。将来的に、外国人の流入が続く傾向にあるため、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得及び居場所づくりのサポートは重要性を増してきます。このような活動を支える資金の手当てとして、助成金の獲得は最優先事項となります。本年度の助成金は赤い羽根募金のみでしたが、次年度の助成金獲得に注力し、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、子どもたちに寄り添った支援を継続して参ります。

## 1. NGO／NPO 間の連携促進事業（会員向け事業）

会員数＝正会員 34 団体、賛助会員（団体）0 団体、賛助会員（個人）0 人  
（2025 年 3 月 31 日現在）

\* 団体名は本報告書末に一覧表を掲載

### （1）会員サービスの充実

〔内 容〕 会員間の情報交換、経験の共有を図るとともに、会員それぞれが有する専門性や経験情報・人材を活かせるように連携や協働の促進に努めました。

#### ① 会員名簿の発行

発行部数 50 部 配布先 会員団体

#### ② 講演会の開催

タイトル：「難民問題の現状と私たち一人ひとりにできること」

講師 国連 UNHCR 協会 芳島 昭一 氏

開催日時：令和 6 年 6 月 20 日（木）15:00～16:45 講演・質疑応答

※会員及び会員以外の方々も含めて会場および ZOOM にて視聴しました。

### （2）会員への情報提供と会員活動への広報協力

〔内 容〕

#### ① 会員への情報発信

- ・ 会員からの問い合わせについて、各種助成金情報や会員団体による主催事業情報、NPO 支援に関する情報発信をホームページにアップし、昨年引き続き SNS 等にて積極的に情報発信を行いました。
- ・ 本年度はメールマガジンを 26 回配信することができました。昨年同様に情報の配信を継続することで、会員間の情報の共有が可能となり、また会員以外の団体等に会員の活動内容を配信することで、有効な情報拡散ができましたことを報告させていただきます。

## ②国際交流等のイベントの後援及び活動の支援

- ・会員団体の国際交流イベントの活動の支援として、メールマガジン、SNS 等で後方支援として広報活動を実施しました。

## ③ 自主イベント時に会員情報の配布協力及び SNS 等を使用した情報配信の協力

- ・会員団体情報として、メールマガジン及び SNS にて情報配信を行いました。

### (3) 会員と企業や団体の連携による事業

#### ①会員との共同セミナー・講演会・イベントの開催

- ・会員団体の大阪国際交流センターとの「一日インフォメーション」の開催、OWF での会員団体との連携によるイベントの開催を実施しました。

#### ② 会員の自主活動事業の協働支援

- ・会員団体の在留外国人に対するアンケート等の対応として、こどもプラザの保護者等を紹介する支援活動を実施しました。

#### ③企業との SDGs の目標達成に向けた共同イベントの開催

- ・OWF の出展ブースに積極的に SDGs 活動を行っている企業の出展をお願いし、企業との交流を実施しています。

#### ④企業と会員及び NPO 等とのセッション及び連携による SDGs の目標達成に向けた活動

- ・OWF の出展ブースへの出展団体の交流を促進することで、出展ブース会場を「プラットフォーム」として活用することで、様々な団体の連携につなげる活動を行っています。

#### ⑤企業と会員及び NPO 等との今後の協働の在り方についての調査及び研究

- ・どのような協働が有効なのかをアンケート等を通じて絞り込み、今後の課題といたします。

## 2. NGO/NPO と多分野の団体、他機関との連携促進事業

### (1) 第 32 回ワン・ワールド・フェスティバル

2025 年 2 月 8 日、9 日の両日、「梅田スカイビル」にて、「共に生きる世界を～今こそ思う みんなのいのち～」をテーマに掲げ、第 32 回 OWF を開催いたしました。

会場のメインは、NPO/NGO 等の 81 団体に出品を頂いた「展示ブース」となります。ここでは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができるため、学生や若者にとって活きた SDGs を学ぶことができる有用なプログラムとなっています。今回から、出品団体の活動をより詳細に紹介する PR コーナーを設けました。初めての試みでしたが、来場者と出品団体との交流の場として今後も引き続き対応して参ります。

3 階ステラホール・ホワイエでのステージプログラムでは、民族舞踊及び民族音楽の他に、在住外国人のための自然災害や防災について分かり易く解説したセミナーも開催し、来場者と一緒を考える機会を設けました。また、セミナープログラム、ステージプログラム、みんなでスポーツプログラム等についての詳細は、後ほどご報告させていただく各プログラムの実施内容を

ご参照ください。

なお、2月8日（土）の夕方には、世界中で起こっている紛争による難民及び命を落とされた人々、また災害などで亡くなられた方の鎮魂と平和を願うために、キャンドルに明かりを灯す「キャンドルナイト」を開催いたしました。また、オンラインにて、SDGsの理念や国際交流・国際協力への理解を深める「第5回動画コンテスト」を開催し、審査委員による最優秀賞等の選定、受賞者への表彰状及び賞金の授与もつつがなく無事終了することができましたこと報告させていただきます。

今回のOWFの開催に当たり、参加して頂いた多くの団体の皆様のほか、場所をお借りし様々なご協力をいただきました積水ハウス梅田オペレーション株式会社様、そして外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市をはじめとする省庁・自治体並びに教育委員会、各種団体、学校、企業等の皆様方には、運営協力、ご後援、ご協賛などの形で多大なご支援、ご協力をいただきました。また、事前準備や当日のボランティアとして多くの皆様にご協力を頂きました。改めて心より厚く感謝を申し上げます。

開催にあたり何かと不備な点がございましたが、その反省は次回以降の運営にしっかりと活かしていきたいと考えています。



三木理事長挨拶



オープニングセレモニーの様子



出展ブースの風景

### 【開催概要】

- 【開催日】 ①会場（リアル）開催：2025年2月8日（土）～2月9日（日）  
②オンライン開催：2025年2月1日（土）～2月28日（金）

- 【場 所】 ①梅田スカイビル・梅田ステラホール  
②梅田スカイビル・タワーウエスト 22階会議室  
③梅田スカイビル・ワンダースクエア

●オンライン開催：ワン・ワールド・フェスティバル 公式HP

- 【入場者数】 約25,000人  
【視聴者数】 約31,712回数  
【参加団体】 178団体（会場：141団体、オンライン：37団体）  
【プログラム数】 216プログラム（会場：178プログラム、オンライン：38プログラム）  
【ボランティア数】 延べ150人  
【実施方法】 実行委員会形式  
【協賛団体】

(株)アクティブ・エステート、朝日生命保険相互会社、イワサ(株)、(株)ウィザス(第一ゼミナール・第一学院高等学校)、(学)上田学園、(学)エール学園、大阪府生活協同組合連合会、大阪プライム法律事務所、(一社)大阪労働者福祉協議会、(株)大塚商会、(株)大番、音羽電機工業(株)、カンサイ建築工業(株)、近畿労働金庫、(株)クボタ、(株)サイエンス、サラヤ(株)、(宗)真如苑、(株)ジャスピコ、大日本除虫菊(株)、(株)ダシーズファクトリー、新居合同税理士事務所、(一財)日本国際協力センター、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(株)ベネシード、ミナミまち育てネットワーク、(株)リゾートライフ

#### 〔運営協力〕

青山学院大学公認 SHANTI SHANTI 国際ボランティア愛好会、大阪プロレス、川西モルックの会、(公財)京都市国際交流協会、(株)クボタ、サラヤ(株)、サントリーホールディングス(株)、ジャトー(株)、積水ハウス梅田オペレーション(株)、(株)創縁舎、ダイドードリンコ(株)、東豊配送(株)、(株)トライアングル、(特活)パラスポーツサポーター、民舞胡蝶、(株)リゾートライフ

#### 〔後援団体〕

外務省、総務省、文部科学省、経済産業省、環境省、関西領事団、大阪府、大阪市、堺市、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、大阪府 PTA 協議会、大阪市 PTA 協議会、堺市 PTA 協議会、大阪商工会議所、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、(公財)関西・大阪 21 世紀協会、(公財)大阪観光局、(公社)2025 年日本国際博覧会協会、(公社)大阪府看護協会、大阪弁護士会、日本労働組合総連合会大阪府連合会、(一財)自治体国際化協会、(公社)日本ユネスコ協会連盟、(公財)ユネスコ・アジア文化センター、関西 S D G s プラットフォーム、(公財)大学コンソーシアム京都、(特活)大学コンソーシアム大阪、(公社)日本 WHO 協会、(一財)大阪教育文化振興財団キッズプラザ大阪、梅田スカイビル商店会、北区商店会総連合会、ミナミまち育てネットワーク、聖天通商店街振興組合、(公財)ワールドマスターズゲーム 2021 関西組織委員会

#### 〔準備活動〕

##### ① 実行委員会の結成

\* 2024 年 4 月 24 日に第 1 回実行委員会を開催し、下記の団体で実行委員会を結成。

\* 構成団体：(独)国際協力機構関西センター、(公社)アジア協会アジア友の会、(公社)アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会、(認活)大阪 NPO センター、(一社)大阪青年会議所、(一社)南太平洋協会、イワサ(株)、(株)エキスプレス、(株)ディーボックス、(特活)関西国際交流団体協議会 (全 10 団体)

##### ② 実行委員会の開催

\* 実行委員会は 4 月から毎月開催し、イベント開催月の前月の 1 月まで、合計 10 回開催しました。

2024 年 4 月 24 日、5 月 30 日、6 月 27 日、7 月 16 日、8 月 20 日、9 月 10 日、10 月 8 日、11 月 12 日、12 月 10 日、2025 年 1 月 14 日

##### ③ 出展団体の募集期間

\* 出展ブース、セミナー、ステージ及びオンラインブースの参加団体の募集期間

2024年8月27日(火)～10月7日(月)

\*ワンフェス動画コンテストの募集期間 2024年7月11日(木)～11月10日(日)

## 〔プログラム実施内容〕

### ①出展ブース (81 団体、85 ブース)

\*NGO/NPO、ODA 機関、教育機関、企業等 81 団体が参加し、SDGs の取組活動を紹介しました。この出展ブースは、SDGs17 項目の達成に向けた各団体の活動を 5 つのグループに分けて紹介し、これらの取り組みを「見て、聞いて、理解する」ことができる大変有用なプログラムとなっています。また、今回から出展ブースに参加している団体が、自団体の活動紹介及び広報を目的としてプレゼンができる「ブース PR コーナー」を設け、13 団体がそれぞれの取り組みを発表しました。



出展ブースの会場の風景



ブース PR コーナーの風景

### ②セミナー・ワークショップ (20 団体、20 プログラム)

\*梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室の 2 つの会議室において、現在世界で起きている社会問題等を取り上げ、国際交流の在り方、国際協力の人材の育成等市民一人ひとりに何ができるのかを議論し、参加者に動機付けができるセミナーを開催することができました。また、モンゴル人の生活の知恵等の文化紹介や、難民認定についてのワークショップ、動く絵本「ニジェル物語」や、ボルネオ島のドキュメンタリー映画の上映会等、一緒に考え意見を交換できる多彩なプログラム内容となりました。



梅田スカイビル・タワーウエスト 22 階会議室セミナーの風景

- ③ ステージ（屋内ステージ：13 団体、18 プログラム 屋外ステージ：4 団体、14 プログラム）
- \* ステラホール 3 階ホワイエの屋内ステージでは、従来の世界各国の民族舞踊及び民族音楽をステージで展開する国際色豊かなプログラムと、深刻な人道危機に直面する国で活動してきたパネリストをお迎えし「いのち」について考えるテーマフォーラム、ウクライナ支援の講演、ご協賛頂いた企業の CSR 活動などを配信するスポンサーチャンネルタイム等、多彩なプログラムを実施しました。



屋内ステージの風景

- \* ワンダースクエアの特設リングを使った屋外ステージでは、大阪プロレスのパフォーマンスだけではなく、サンバ打楽器の演奏や日本舞踊なども加わり、会場を 1 日中盛りあげました。両日開催した大阪万博の「盆ダンス」は、来場者と一緒に楽しむことができました。



屋外ステージの風景

#### ④ みんなのキッチン（17 団体）

- \* ワンダースクエアでは、世界の料理を食べることができる「みんなのキッチン」を開催し、国際色豊かな料理を提供するキッチンカー17 台に多くの来場者が詰め掛け、世界のグルメを楽しんでいただきました。土曜の午後は粉雪が舞うあいにくの天候にもかかわらず多数の来場者が来訪し、また日曜は天候に恵まれたこともあり多くの方々が訪れ、屋外ステージのパフォーマンスを見ながらインバウンドの来訪者と一緒に食事を楽しんでいただきました。



みんなのキッチン（ワンダースクエア）会場の風景

### ⑤みんなでスポーツ（5団体、12プログラム）

\*ワンダースクエアで開催された世界の珍しいスポーツを紹介する「みんなでスポーツ」は、初開催となるモンゴルの蹴鞠テベグの体験をはじめ、毎年好評のモルック及び健常者も障がい者も一緒に参加できるポッチャのパススポーツ体験、大阪プロレスの試合とちびっこプロレス教室を開催し、今回は大阪市協力の健康チェックコーナーも設けました。来場者の積極的な参加により、寒さに負けず大いに盛り上がりました。なお、ポッチャ体験は梅田スカイビル・タワーウエスト3階ステラホールロビーにて実施しました。



みんなでスポーツの風景

### ⑥外務省写真展「みんなが輝く世界 for the first step!」の開催

\*毎年恒例となりました「外務省写真展」は、来場者が行き交う梅田スカイビル・タワーウエスト3F ステラホールロビーで開催しました。日本が国際協力を開始してから70周年を迎えた2024年に応募された作品が展示されました。言葉や文化の壁を越えて心をひとつにする「笑顔」の瞬間が多く寄せられ、来場者には日常の様々な場面であふれる温かな場面を通じて、未来へと繋がる希望を感じていただきました。



外務省写真展の風景

### ⑦避難民テントの展示（1団体）

\* ワンダースクエアにて、国連 UNHCR 協会の難民テントの展示が行われました。

実際に避難地で使用されているテントの中に入り、避難民が置かれた困難な状況に思いを馳せ、実際に起こっていることを想像しながら疑似体験ができる、貴重な体験プログラムとなりました。



テント展示(国連UNHCR協会)の風景

### ⑧体験型イベントの実施等（実行委員会の主催）

\* ステラホールにて世界の民族衣装の着付け体験、小枝のストラップ作り、リサイクルぞうり作り、メキシコのピニャータ制作、日本の遊び体験を実施しました。そして、日曜日だけの開催となりましたが、完成したピニャータの中にお菓子等のプレゼントを詰め、こどもたちが割ってプレゼントを取り出す「ピニャータ割り」というワクワクする体験会をワンダースクエアで3回実施しました。また、来場者にスタンプラリー用紙を渡し、会場で実施されているプログラムを巡りながら、決められた場所でスタンプを集めてクイズに答えると景品がプレゼントされる「クイズスタンプラリー」を実施しました。



体験型イベントの風景

### ⑨相談コーナー（2団体）

\* ステラホールロビーにて外務省 NGO 相談員ブースと在留外国人向け防災啓発コーナーを設け、来場者へとりわけ在留外国人の方々へ情報提供を行いました。



相談コーナー

### ⑩特別販売コーナー

\*今回は展示ブース参加団体の希望により特別販売コーナーを設け、ステラホールロビーにて参加団体の活動内容を紹介しながら魅力ある商品の展示販売を実施しました。



特別販売コーナー

### ⑪ミャンマーの写真展

\*日本ビルマ救援センターによるミャンマーの写真展を3階ホワイエと22階会議室ホワイエにて開催しました。



ミャンマーの写真展

### ⑫「伝統と革新」-伝統工芸品の作品展示会-

\*ステラホール・ホワイエにて、海外でも評価が高い日本の染色職人らによる伝統工芸品の作品展示会を開催しました。世代を超えて受け継がれた技術や、伝統技術から着想を得て新たな技術を用いながら製作された職人さんの情熱を、作品を通して感じて頂きました。



「伝統と革新」-伝統工芸品の作品展示会-

### ⑬大阪関西万博の PR コーナー

\* ステラホールへの入り口に公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会による大阪・関西万博 PR コーナーを設けました。



大阪・関西万博 PR コーナー

### ⑭キャンドルナイト

\* 新たなイベントとして、キャンドルナイトを開催しました。世界中で起こっている紛争による難民及び命を落とされた人々、また災害などで亡くなられた方の鎮魂と平和を願うために、キャンドルジャケットにメッセージを書いてキャンドルに明かりを灯しました。



キャンドルナイト

### ⑮第 5 回ワンフェス動画コンテスト (26 グループ、26 プログラム)

\* 動画コンテストには、小・中・高校生部門の応募作品 10 作品、専門・大学生・社会人部門の応募作品 16 作品、全体で 26 作品の応募がありました。前回に引き続き 5 回目の開催となります。SDGs の理念や国際協力、国際交流への理解を深めるツールとしての役割を果たしています。



動画コンテスト 小・中・高校生部門 最優秀作品



動画コンテスト 専門・大学・社会人部門 最優秀作品

## ⑩ スポンサーチャンネル（12 団体、13 プログラム）

\* ワン・ワールド・フェスティバルにご協賛及びご支援をいただいている企業の CM や CSR 活動を配信するものです。

## （2） こどもプラザ

### 【事業の概況】

外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習の支援と居場所づくりという事業目的のもと、2024 年度の「こどもプラザ」の事業は、順調に推移しました。本年度の資金調達として、赤い羽根共同募金の助成を受けることができました。今後も事業運営資金の調達の一環として、種々の助成金獲得に取り組んで参ります。

こどもの受入状況は、徐々に増加し、夏休み期間には台湾からの参加者もあり、多いときは10名が一緒に学びました。3月時点で12名の登録者があり、国別ではベトナム4名、中国7名、ネパール1名となっています。外国にルーツを持つ子どもたちは、学校の授業についていけない等の困難に直面していますが、悪戦苦闘する子どもたちに寄り添い、子どもたちの手助けになればとボランティアの方々とも明るく対応しています。

通常の運営に加えて、日本の季節に合わせた諸行事を取り入れたプログラム作りに留意しており、2024 年度では、バスケットボール観戦、こどもの日、七夕、ハロウィン、クリスマス、ひな祭りなどの行事を行いました。子どもたちが手作りで行事にちなんだ飾りつけを作りながら、日本文化に触れる機会を設けています。また7月には、近畿大学・経営学部吉田教授のゼミ生21名が参加し、子どもたちの日本語習得等のボランティアそしてサポートをしていただきました。

昨年の12月時点で、大阪市内の在留外国人数が過去最多を更新し、日本語のサポートを必要としている児童数は、2025年3月末時点で1,600人を超えている状況下にあります。来日した子どもを最初に世話をする「プレスクール」と連携しながら、こどもの受入れについて柔軟に対応しているところです。また、大阪市教育委員会事務局、区役所及び校長会、小学校等との連携を密にし、確かな情報を得ながら子どもたちの支援を継続して参りたいと考えています。今後は、民間からの助成金を募り、中学生の受入れも継続して対応できるようにいたします。

### 【事業の成果】

#### 【令和6年度事業実施の成果】

1) 事業期間	2024年4月1日～2025年3月31日	
2) 実施回数	①こどもの日本語習得実施回数	50回
	②保護者の日本語習得実施回数	50回
3) 参加者数	①こどもの延べ参加人数	356人
	②保護者（主に母親）の延べ参加人数	247人
	③ボランティア指導員延べ人数	342人

※ボランティアを募るのが難しく、公的な媒体及びチラシ、HP等で告知をしていますが、人数確保に苦勞している状況が続いています。



こどもプラザの授業風景



近畿大学の学生ボランティア参加



クリスマスの記念写真

### 3. 国際交流・国際協力・市民活動に関する情報収集と提供事業

#### (1) NGO/NPO に関する情報の収集・提供事業

〔目的〕 国際交流・国際協力に関する多様な情報収集と提供を行う

〔内容〕 関係機関からの情報を整理し、ホームページ上で「新着情報」として取り上げ、タイムリーに配信することを継続しています。また、PICK UP 情報として、イベントの情報を詳しく紹介するコーナーも設け、情報発信の充実を図りました。各団体からの掲載の依頼なども新着情報と併せてメールマガジンに掲載し、約 867 団体に配信を行いました。

#### ●メールマガジンの配信実績

- ①関団協ニュースレター 10 回配信 Vol. 44～Vol. 53
- ②その他のニュース配信 16 回配信

#### ●メールマガジンの主な配信先

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| ①関団協の会員                  | 80 件  |
| ②OWF 関係団体及び過去の出展者        | 211 件 |
| ③OWF のボランティア             | 142 件 |
| ④その他関団協との関係者(過去の会員団体を含む) | 434 件 |
| 配信件数合計                   | 867 件 |

### 4. 開発教育・市民意識啓発と活動への参加促進事業

#### ①国際理解（世界で起こっている社会問題等）の教育の促進

OWF の会場で開催される SDGs の活動を「見て、聞いて、理解する」ことができる出展ブースを、教育の場とし活用し、中学生、高校生、大学生の学ぶ場としての役割を果たすように努めてきました。今回も前回に引き続き、奈良・育英西中学校の生徒約 80 名が会場を訪れ、生徒各自が出展ブースを巡り生徒一人ひとりの目線（考え方）で、自分に合った課題を選び、出展ブースの団体にヒアリングを行い、今起こっている社会問題等について自分の考えをまとめる、という学習体験をしていただきました。

〔期 間〕 2025 年 2 月 8 日（土）

〔会 場〕 梅田ステラホール「出展ブース」

〔参加人数〕 奈良・育英西中学1年生（生徒約80名）引率先生2名

②SDGsの市民が参加できるシンポジウム等の開催

2月8日（土）、9日（日）に開催されたOWFのセミナー会場にて、SDGs17項目に沿った様々な講演及びセミナーが開催され、訪れた市民の方々と意見交換を実施しました。

③その他国際交流・国際協力活動に繋がるイベントの自主開催及び他の団体が開催するイベントへの後援及び協力により市民意識啓発

外国にルーツを持つ子どもたちへの支援の関係で交流を深めています特定非営利活動法人東大阪国際共生ネットワーク主催の「第27回東大阪国際交流フェスティバル」の広報支援を行う等、他の国際交流団体との連携を強化しているところです。

④将来の担い手づくりの一環として、留学生のインターンシップを受入れ、国際交流・国際協力に繋がる人材育成

○人材育成事業（留学生のインターン受入れ）

学校法人エール学園の推薦により、2名の留学生を受入れ、国際交流・協力を目的とした「ワン・ワールド・フェスティバル」の開催に伴う、企画、折衝、プログラムの制作の補助、イベント参加者の対応等、イベント開催の運営の実践を学ぶインターンシップを実施しました。

〔期 間〕 2024年10月1日～2025年2月27日

〔対 象〕 学校法人エール学園 留学生 2名（ベトナム1名・ミャンマー1名）

〔内 容〕 イベント企画の内容のチェック、実行委員会における企画の承認、イベント参加団体の募集、募集のためのポスター及び募集ツールの作成、過去に参加された団体等への募集要項の発送、応募者受付及びリストの作成、イベント告知ツールの作成、チラシの作成等運営について実践的に学べる内容となっています。また、開催当日もイベントに参加し、企画したことが実践される過程を学ぶことができました。

## 5. NGO／NPOの基盤強化事業

NGO/NPOの基盤強化のために法律や税務等のエキスパートと連携し、NGO/NPO等の団体がスムーズにサービスを受けることができるシステムを構築しています。

※会員等団体から申し出があれば、協議会から各エキスパート関係者に予約を打診し、その後会員等団体の相談者が直接エキスパートに相談するシステムにて運用しています。

〔事業の成果〕 本年度の事業については、会員からの具体的な申込がなく、どのような場合に利用できるのかの質問等に留まっています。このため、今後は積極的なPRを行いNPO等の基盤強化に貢献したいと考えています。

## 6. 調査研究・提言事業

### ①会員及び他の NPO 等の現状調査

当協議会は、会員団体からのイベント等の情報収集を積極的に実施し、メールマガジン等を利用した情報提供を継続して行って参りました。また、世界的に問題となっている難民等の社会問題について、現況報告及び講演会等の情報を会員団体に限らず広く情報発信を実施しているところです。

### ②外国にルーツを持つ子どもたちの現状報告

近い将来、日本における在留外国人数が1,000万人に達するのでは、との予想をされている機関もありますが、すでに昨年末の時点で380万人に達し、大阪市内でも19万人と3年連続で過去最多を更新しています。このような状況を受けて、外国にルーツを持つ子どもたちの急激な増加が教育現場の混乱と社会問題を引き起こしています。大阪市内においても、外国にルーツを持つ子どもたちの日本語習得をサポートする人材不足に悩まされています。このような教育現場での混乱もありますが、当協議会が進めている「こどもプラザ」事業の結果報告を大阪市教育委員会事務局、助成金のご支援をいただいている企業・NPO等にも実態報告を行う事で、現場の状況の一端を理解していただいています。今後も継続した事業報告をHP等も含めて対応して参ります。

### ③一日インフォメーションの開催

在留外国人の増加に伴い、日本での法律の問題、生活の困窮及び生活するうえでの問題が発生しています。このような問題解決の術を知らないという在留外国人を対象に、2024年7月6日(土)、2025年1月18日(土)の2回、「外国人の住みやすい大阪」を考える関係機関等連絡会議(事務局=大阪国際交流センター)が主催する「1日インフォメーションサービス」を開催しました。この相談会は、無料で相談できるもので、ワンストップで相談できると大変好評なイベントでもあります。この事業の報告をさせていただきます。

1) 2日間の相談者実績合計：144名

2) 主な相談内容：出入国・在留関係74件、法律関係21件、生活関係18件、税金関係17件となっています。

### ④関西ボランティアネットワーク会議(KIV-NET)への参加

関西ボランティアネットワーク会議(KIV-NET)には、当協議会がメンバーとして参加し、他の参加団体との交流及び情報を共有しているところです。

# 会員団体一覧

(2025年3月31日現在)

## 正会員 34 団体

### <正会員>

- (公社) アジア協会アジア友の会
- (一財) アジアセンター21アジア図書館
- (一財) アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)
- (公社) アムネスティ・インターナショナル日本・関西連絡会
- 茨木市国際親善都市協会
- (学) エール学園
- (公財) オイスカ関西支部
- (公財) 大阪国際交流センター
- (一社) 大阪青年会議所
- 大阪日米協会
- (認活) 大阪府高齢者大学校
- (公財) 大阪YMCA
- (公財) 大阪YWCA
- (一財) 海外産業人材育成協会関西研修センター
- 関西日英協会
- 関西日豪協会
- 関西日本・スイス協会
- 関西日本・フィンランド協会
- (公財) 京都市国際交流協会
- (独) 国際協力機構関西センター(JICA 関西)
- (公社) CISV日本協会関西支部
- (公社) 青年海外協力協会 JOCA 大阪
- 忠岡町国際交流協会
- (特活) ナック(NAC)
- (一財) 日本国際飢餓対策機構(Hunger Zero)
- (一財) 日本国際協力センター関西支所
- (特活) 日本多文化交流協会
- 日本・ベルギー協会西日本支部
- (公社) 日本ユネスコ協会連盟
- 日本労働組合総連合会・大阪府連合会(連合大阪)
- パナソニックグループ労働組合連合会
- 東大阪市国際交流協会
- ファミリー&フレンズ・プロジェクト
- (一社) 南太平洋協会

五十音順・敬称略